

ネコヤナギ
エコエ法

Salix gracilistyla

ネコヤナギ・エコエ法で 生き返る水辺

●● ネコヤナギは ●●

北海道から九州まで全国に自生しています。

低木で幹立ちせず、3m 以上になりません。

水辺の植物なので環境の変化に強い。

挿し木で簡単に増え、生長が早い。

洪水時に枝がしなり、流れを大きく阻害しません。

根元や水に浸かった枝先から水中根を出します。

汽水淡水魚の
4割が絶滅危惧と
されています
レッドデータブック
2013 年版

竹ポット

●● ネコヤナギの根は ●●

ヒゲ状の細い根で、コンクリート護岸を痛めません。

●● ネコヤナギの水中根は ●●

流速を弱め、護岸を守ると同時に生き物の住処や退避場所になります。

*国土交通省 国土技術開発賞 地域貢献技術賞 受賞《2012 年度》

*新技術情報提供システム NETIS 登録工法《QS-080012-V》

*特許《第 4313837 号》

*今までのコンクリート護岸緑化工事は、護岸を一度壊して作り直すのでコスト高ですが、ネコヤナギ・エコ方法は挿し木した竹ポットを既存の護岸に差し込むだけなので **短期間・低コスト** です。

ネコヤナギ・エコエ法の 3つのポイント!



ネコヤナギは水辺に緑陰を作り、直射日光や天敵から生き物を守ります！水中根は生態系の基礎となる藻類や有機物をたくさん蓄え、水生昆虫・エビ・カニ等甲殻類・魚を養います。また、洪水時には生き物の退避場所となります。



水面をカバーするネコヤナギ



水中根に集まる魚



無機質なコンクリート護岸を緑化することで、景観が良くなります。そこに魚や鳥が来ることで風景に彩りを添え、より豊かな景観となります。また、ホタルが飛び交う川になり、ふるさとの河川景観を取り戻すことが出来ます。



無機質なコンクリート護岸



緑化したコンクリート護岸



コンクリート護岸が続くと、川辺に集う人が転落した時、つかまるものがなく流されてしまいます。ネコヤナギの枝は粘り強く、小枝 1 本で 100kg の重さを支えることが出来るので、這い登る時にはロープの代わりになります。



転落時のクッション効果



這い登り時のロープ代わり